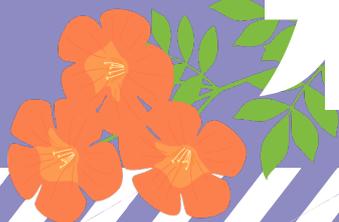


埼玉県作業療法士会 広報誌

# 彩り

# 夏号

2025年度



- ねえきいて！「あなたのお仕事机見せてください！」 vol.4
- 作業療法学生企画『Quality of Campus Life』
- 出張！活動瓦版

## No.20

— 作業療法に関わる全ての人たちの魅力を伝える情報誌 —

# ねえ、みて!

作業療法  
実録

## あなたのお仕事机 見せてください! vol.4

私は OT 室では整形疾患の患者さんへの対応が多いこともあり、対面式のテーブルを使用しています。けが再発予防の指導なども大切なリハビリの一部であり、肩や肘、手、手指の骨格標本など使って分かりやすい説明を心がけています。ギプスがオフになった、その場でのスプリントの作製もしています。



防衛医科大学校病院  
椎名 義明さん  
のお仕事机



私のもうひとつの仕事場は動作分析室です。OT 室のお隣にあり、天井には光学式カメラ、床には反力計が設置されています。スポーツ動作や家事動作などの動作を解析できる場所です。病院内で一番広い部屋を使わせていただいているかもしれないですね。

バッターボックスのあるリハ室は珍しいと思います。無限バッティングマシンもあるので遊びに来てください。



特殊な装置に囲まれた部屋!



いろんな種類の義手を作製します。

最近のトピックとしては、防衛省・自衛隊ではウクライナ支援として負傷兵のリハビリ治療を実施しています。OT では義手の作製と訓練を実施しております。関心のあるかたは見学にきてください。



※写真は練習用義手です。



# Quality of Campus Life



埼玉県作業療法士会では、県内の養成校の学生さんが『広報部学生サポーター』として広報部で活動し作業療法の魅力を伝えています。

そんな学生サポーターさんが今回は県内の臨床現場で働く作業療法士にインタビューしてくれました！



## 【今回の質問内容】

臨床に出て感じたギャップはありますか？



訪問/ハビリ担当

近森

傾聴の大切さを感じました。学生時代は検査や評価や課題や試験と、自身の価値観で考えて理解・行動する事が多くありましたが、臨床では目の前の方の視点で物事を考えるので、相手を知り、寄り添う事が必要だと思いました。様々な経験や価値観を聞くことはとても楽しいです。



認知症治療病棟担当

石井

『座学だけの知識ではどうしてもできない』と、入職当初から感じていました。私は認知症や精神疾患がある方と関わることが多いのですが、同じ疾患でも全く同じ症状の方はいません。その各々に適した作業療法を考える時、「教科書で見た！」が通用しないことばかりです。その人だからこそその作業療法が実施できて、やっと「OTになった」と実感できました。



回復期/ハビリ病棟担当

永山

養成校を卒業してからも学び続ける必要があるということです。患者さんの病状が教科書通りではなかったり、さまざまな疾患を複合していたり、精神機能も人それぞれだからです。困ったときには職場の先輩や後輩、PTさんやSTさん、他部門の職員さん、ときには養成校時代の友人に相談に乗ってもらいながら、日々経験を積み、知識を学んでいます。



一般病棟担当

小島

お金をもらうということです。言い方が悪いですね笑  
仕事をして給料をもらうということです。苦労したところとも被りますが、自分の職業をしっかりと考えて仕事をして、結果を出していかなければいけないということですかね。



埼玉県作業療法士会広報部では、県内の作業療法の養成校に通う学生さんの中から学生さんのリアルを伝えてくれる『学生サポーター』を随時募集しています！興味のある方は各養成校の先生に相談してみてくださいね！

# 子どもに関わるOTが 増えることを期待して

小児領域は  
少ない人数  
で行ってい  
る職場も多  
く...

令和7年3月10日に大宮ソニックスシティにて、今夜はみんなで語らNight!  
『みんなで子どもに関わるOTの話聞いてみよう』  
『仕事場・支援内容など』を開催しました。  
当日は小児発達領域で働く4名の方に各々の職場での働き方や作業療法士に求められているものなどを熱く語っていただきました。



2025. 3.24掲載

続きはこちらから→



出張!

# 活動瓦版

第一版

埼玉県作業療法士会では、ホームページに県内の作業療法士の活動内容や研修会レポートを『活動瓦版』というページで掲載しています!  
今回、広報誌『彩り』に『活動瓦版』の一部を掲載することになりました。気になる文章の続きは是非ともホームページをご覧ください。

## みんなで語らNight! 脳血管障害のADL -臨床推論と介入方法-



2024. 11. 6掲載

続きはこちらから↓



令和6年9月28日(土)に『みんなで語らNight!脳血管障害のADL-臨床推論と介入方法-』を実施しました。今回は久しぶりに対面で開催しました!!!  
内容は3部構成で、第一部:ぶつちやけNight!、第二部:脳血管障害のADLに関する講義、第三部:ディスカッションを行いました。  
参加者は25名で、特に1~4年目の方が多く参加してくれました。また、中には10年以上の方や、ローの方の参加もあり、様々な視点からの意見を...